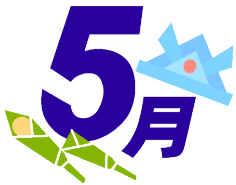




# ひらどだい

令和4年度 学校だより 5月号 横浜市立平戸台小学校学校長 丹波 悟亮



## 自然と歴史と心意気

校長 丹波 悟亮

雨上がりの夕方、職員玄関の前に一匹のヒキガエルがいました。平戸台小学校の校舎の前を横切り、どこに向かっていこうとしているのかしら。自分が小学生の頃にはよく目にした光景ですが、最近は見ることがなく、思わず微笑んでしまいました。



平戸台小学校の敷地内にはホタルの里があり、近くには平戸川が流れ、高台には大きな運動広場の川上公園もあります。国道1号線の向こうには平戸みはらし公園の周りに果樹園があり、緑と水辺に恵まれて、平戸台小学校は自然豊かな場所だと感じます。

また、鎌倉に近く、北条政子にゆかりのある名所もあり、旧東海道に近く江戸時代からの歴史を感じさせる場所も多くあります。

そして、その歴史があり、自然豊かな町に育つ、平戸台小学校の子どもたちは、人懐っこく純粋で心豊かです。無邪気で、一生懸命。とても子どもらしい。少し昭和の香りをさせる子どもたちです。教室を回っていると子どもたちが目をキラキラさせ、話をしてくれます。校長としては、子どもたちと心を通わせる時を楽しんでいます。

1年生を迎える会では、上級生が、1年生のために歌の練習をがんばり、メッセージを考え、思いを伝えていました。1年生も感謝の気持ちを伝えていました。お互いに相手を思いやる気持ちが体育館に共鳴して、素敵な会になりました。

平戸台の子どもたちの心根のよいところは、きっと自然を守り、歴史を大切に、平戸の地を愛する人たちの心意気があるからだ実感します。どんなに世界が変わろうとも、変えるものと変えてはいけないものの区別がしっかりしている。脈々と受け継がれる、地域の人たちの素敵な心意気があふれています。この小学校の校長に着任できたことをとても幸せだとかみしめる日々です。

232名の児童一人ひとりを大事にして、平戸台小学校の学校スケールを最大限に生かしながら、これからの時代を背負って生きていく子どもたちの育成を教職員と共に進めていきたいと思ひます。